

2025年度 各種奨学生の募集について

下記の奨学団体が奨学金の募集を行っています。

詳細は [\(朝倉\) 学生支援課経済支援係](#) ・ [\(岡豊\) 学生課学生支援係](#) ・ [\(物部\) 物部総務課学務室学生支援係](#)までお問い合わせください。

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p>出雲市教育委員会教育政策 (出雲市奨学事業) https://www.city.izumo.shimane.jp/www/content/s/1297924648560/index.html</p>	<p>2025年4月1日時点で、大学・大学院に進学予定・在学中で、以下のすべてに該当する者</p> <p>①学業優秀である者 ②経済的理由により修学が困難である者 ③奨学金を受けようとする者又はその保護者が、申請日の時点で3年以上出雲市内に住所を有している者</p> <p>* 他の奨学金制度との併用が可能 * 募集要項、申請書類等は、左記HP確認・ダウンロードをお願いします。</p>
<p>出雲市教育委員会教育政策 (出雲市高野令一育英奨学事業) https://www.city.izumo.shimane.jp/www/content/s/1297924648560/index.html</p>	<p>2025年4月1日時点で、大学・大学院に進学予定・在学中で、以下のすべてに該当する者</p> <p>①学業優秀である者 ②経済的理由により修学が困難である者 ③奨学金を受けようとする者又はその保護者が、申請日の時点で3年以上出雲市内に住所を有している者</p> <p>* 他の奨学金制度との併用が可能 * 募集要項、申請書類等は、左記HP確認・ダウンロードをお願いします。</p>
<p>返還の必要なし 一般財団法人 霞山会 http://www.kazankai.org/</p>	<p>次のすべての項目に該当する者</p> <p>1)日本国籍を有している者 2)日本の大学院(修士・博士課程)に在籍(2025年4月入学予定も含む)し、次項の各分野を専攻する者 3)近現代中国または台湾に関する政治、経済、歴史、教育・文化の各分野を専攻する者 4)応募時に下記年齢の者 ①修士課程在籍(2025年4月入学予定も含む)者…30歳未満 ②博士課程在籍(2025年4月入学予定も含む)者…40歳未満 5)給与所得者ではない者 6)将来、大学あるいは研究機関において研究職を希望する者 7)成績優秀で心身ともに健康な者</p> <p>* 募集要項、申請書類等は、左記HP確認・ダウンロードをお願いします。 * 大学に推薦書の様式を用意していますので、申請を希望する方は申請期限内に間に合うように学生支援課奨学金窓口にお問い合わせください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 似鳥国際奨学財団 (2025年度上期奨学生) https://www.nitori-shougakuzaidan.com/</p>	<p>次の①～④の項目にすべて該当する者(全ての資格は、2025年4月1日時点)</p> <p>①日本国籍を有する者(外国籍を有し在留資格が、「永住者」または「定住者」の人も応募可能) ②【学部生】1～4年(医学部医学科の学生は1～6年)に正規生として在籍予定の者 (1～4年は23歳以下、5～6年は25歳以下の者) 【大学院生】25歳以下で、修士課程の1～2年に正規生として在籍予定の者 ③前年度の世帯収入が900万円以下の者 ④大学(院)入学から現在までの成績がGPA2.5以上(4.0満点)の者 ※大学の成績がまだない場合、直近の高校学年末の成績が評定平均3.5以上(5段階評価)を目安とする。</p> <p>・その他 * 給付型奨学金との重複受給は不可 * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 蔵人記念財団 https://www.kurodo-foundation.or.jp/</p>	<p>次のすべての項目に該当する者</p> <p>・現大学1年生(給付は大学2年次より行います) ・応募時点において、日本国籍を有している者 ・経済的に恵まれず、修学が困難な者(世帯年収が、目安として400万円以下(税込み)であること) ・親権者(又は未成年後見人)等による保証人の同意を得ている者 ・本人及び生計を一にする家族が、暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者又はその構成員ではない者 ・日本国内にある大学で、農学部、畜産学部、水産学部及びそれらに準ずる学部・学科(獣医学は除く)に在籍している者</p> <p>* 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること * 応募書類の推薦書は、学生からアドバイザー教員にお願いし、署名・捺印をもらってください。 (大学の公印は不要です。大学名は奨学金窓口でゴム印を押しますので、募集期限内に間に合うように推薦書を持参してください。)</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 日本通運育英会 (2025年度日本通運交通遺児等支援奨学金) http://www.nittsu-ikueikai.or.jp/</p>	<p>下記の①～④のすべてに該当する者</p> <p>①交通事故により保護者等を失うか、又は保護者等が交通事故により重度の心身障害を負った方。 あるいは学生本人が交通事故により障害もしくは傷病を負った方。 ②2025年4月現在、18歳以上21歳以下である方。 ③経済的に修学が困難であると認められる方。 ④学術優秀、品行方正で勉強意欲のある方。</p> <p>* 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 岩谷直治記念財団 (2025年度岩谷日本人大学院生奨学助成) https://www.iwatani-foundation.or.jp/</p>	<p>学業成績が優秀であって、学生生活上、経済的援助を必要とし、次のすべての条件に該当する者とします。</p> <p>(1)日本国籍を有する者 (2)2025年4月1日時点で日本に在住し、大学院の修士課程または博士課程に在籍している者または入学決定者 (3)自然科学系および関連する学際分野を専攻している者 (応募資格に該当する自然科学系および関連する学際分野) 工学、理学および農学の全般、ただし、医学、薬学は除く (4)2025年4月1日時点の年齢が修士課程は満30歳未満、博士課程は満35歳未満の者 (5)2025年4月以降、他機関からの奨学金や研究支援金等を受けない者 (6)学位取得にあたり、経済的援助を必要とする者 (7)奨学金支給1年目に5回開催する奨学生例会に年間を通じて出席し、奨学生としての義務を果たせる者 (8)奨学期間中に他国への短期留学、交換留学等により日本を離れる予定のない者 (9)奨学金至急終了後も当財団との関係を継続する意思のある者 (10)国際交流と親善を積極的に行う者</p> <p>* 募集要項、申請書類等は、左記HP確認・ダウンロードをお願いします。 * 推薦状は、学生から指導教員にお願いし、指導教員の印等をもらってください。</p>

* 奨学生に採用された学生は、各キャンパス奨学金担当者まで報告をしてください。

団体 (奨学金名等)	応募資格等
<p>返還の必要なし 公益財団法人 森下仁丹奨学会 https://jintan-shogakkai.jp</p>	<p>下記のすべての項目に該当する者 ①志操堅実、学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な日本国内の大学生又は大学院生(留学生は除く) ②(家計基準)日本学生支援機構第一種奨学金基準 ※院生も学部生と同等の家計基準を適用とする。 ※日本学生支援機構等返還を要する貸与型奨学金を除き、他の給付奨学金との併用不可。 ③(人物基準)就学の意志が固く、責任感が強く、学生生活全般を通じて態度、行動に良識があり、且つ修業後、社会に有用な人材と為り得る者。 ④(健康基準)大学の保健センター、または医師が発行した健康診断書により、就学に支障がないと認められる者。 ⑤(学力基準)学部新1年生は、高校3年間の評定値4.0以上。学部新2年生以上は、前年までに標準修得単位数を修得済みであり、かつ、前年度までに通算GPA値が2.8以上。院生は、前年度までに通算GPA値が2.8以上。 * 推薦調書は、学生から2025年度のアドバイザー教員・指導教員にお願いし、署名・捺印をもらってください。 * 応募者多数の場合は学内選考があります(学部生・院生合わせて1名のみです。) * 学部新1年生は、評定値がわかる調査書又は成績証明書を提出してください。学部新1年生以外は、GPA付の成績証明書(2024年度までの成績が反映されたもの)を提出してください。 * 選考のため、財団が求める書類以外に提出書類が必要になりますので、生計維持者(原則父・母)の最新の所得課税証明書と2023年分の源泉徴収票または確定申告書の第一表及び第二表等を提出してください。別途書類の提出を求める場合があります。 * 募集要項、応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 高知ロータリークラブ (ロータリー学業支援奨学金) (問合せ先:088-824-8660)</p>	<p>下記のすべての条件を満たす者(2024年度進学者対象) ・高知市に居住し、高知市内および高知市近隣の高等学校を卒業後、高知県内国公立大学を令和7年3月末に卒業する者 ・学業、人物ともに優れ、学習意欲が旺盛で、かつ、経済的援助を必要とする者 ・高知県内国公立大学・大学院に進学する者 ・年4回(6月・10月・12月・2月)の夜間例会に3回程度参加できる者(無料) * 他の奨学金との併用が可能</p>
<p>高知市教育委員会 (高知市大学等奨学金奨学生) (問合せ先:088-823-9468)</p>	<p>次の①、②の両方と③～⑤のいずれかに該当する方 ①書類提出期限までに、高知市に本人または保護者が1年以上居住している方 ②修学が経済的に困難な方(生計を同じくする世帯全員の所得により判定します。) ③令和7年4月以降、大学に入学される方で、高校などを卒業(または高等学校卒業認定試験合格)後2年以内の方 ④大学(大学院を含む)に1年以上在学している方 ⑤大学等を令和7年3月末に卒業される方 * 他の奨学金制度との併用が可能</p>
<p>返還の必要なし G-7奨学財団 (在学生・内部進学)の院生新1年生 https://g-7foundation.or.jp</p>	<p>・大学又は大学院に在籍し、学業優秀かつ学修意欲があり、将来社会的に有益な活動を目指す者であって、学資の援助をすることが必要であると認められる者 ・日本国籍を有している者 ・他の奨学金制度との併用・併願は可能(ただし、支給額を調整することがあります。) ・海外留学の場合は、留学期間中の単位が国内在籍大学の単位とみなされること。(休学し、海外留学を行う場合は要件を満たさないものとします。) ・学力基準:学部生新2年生以上は、原則として、直近1年間のGPAが3.1以上の者 * 直近1年間のGPAはご自身で計算していただきます。算出方法は奨学金窓口にてお伝えしますので、右記の申出期限(2025.3.31)までに必ず窓口に応募する旨を申し出てください。 その他 * 応募資格、提出書類等の詳細、申請書類は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること * 成績証明書の提出が必要です。(2024年度全ての成績が記載されたもの。) * 応募書類の推薦書は<在学生用>を使用し、基本的には2025年4月のアドバイザー教員、指導教員に学生からお願いして、署名・捺印をもらってください。推薦校記入欄の日付と学長名の欄は記入しないでください。 推薦書のみ大学締切に間に合わない場合は、窓口で申し出てください。 * 所得税法上の被扶養者でない者は、財団の指定する書類以外に提出が必要な書類がありますので、早めに申し出てください。</p>
<p>返還の必要なし G-7奨学財団 (学部新1年生・外部進学)の院生新1年生 https://g-7foundation.or.jp</p>	<p>・大学又は大学院に在籍し、学業優秀かつ学修意欲があり、将来社会的に有益な活動を目指す者であって、学資の援助をすることが必要であると認められる者 ・日本国籍を有している者 ・他の奨学金制度との併用・併願は可能(ただし、支給額を調整することがあります。) ・海外留学の場合は、留学期間中の単位が国内在籍大学の単位とみなされること。(休学し、海外留学を行う場合は要件を満たさないものとします。) ・学力基準:学部生新1年生は、高校3年間評定値が4.0以上の者 ・学力基準:院生新1年生は、原則として、直近1年間のGPAが3.1以上の者 その他 * 応募資格、提出書類等の詳細、申請書類は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること * 学部生新1年生は、高校の成績証明書の提出が必要です。(評定値が記載されたもの。) * 外部進学)の院生新1年生は、直近1年間のGPAが記載された成績証明書の提出が必要です。(2024年度全ての成績が記載されたもの。) * 直近1年間のGPAが記載された成績証明書が発行できない場合は申請書類等提出期限に関わらずお早めに奨学金窓口まで申し出てください。その場合、窓口にて算出方法をお伝えしますので、ご自身で計算し、GPA計算書と計算に用いた根拠となる書類(成績証明書等)をその他申請書類と併せて右記提出期限(2025.4.10)までに提出してください。 * 応募書類の推薦書は、高知大学での直接推薦を受ける場合は<在学生用>を使用し、2025年4月のアドバイザー教員、指導教員に学生からお願いして、署名・捺印をもらってください。推薦校記入欄の日付と学長名の欄は記入しないでください。 推薦書のみ大学締切に間に合わない場合は、窓口で申し出てください。 令和7年4月以前の所属先にて推薦を受ける場合は<新入生・編入生用>を使用し、所属大学追認欄の日付と学長名の欄は記入しないでください。 * 所得税法上の被扶養者でない者は、財団の指定する書類以外に提出が必要な書類がありますので、早めに申し出てください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 キーエンス財団 (新1年生のみ) www.keyence-foundation.or.jp</p>	<p>以下のいずれの項目にも該当する者 ・2025年4月に日本の大学に入学する者(4年制の学部・学科生に限る。ただし留学生を除く。) ・2025年4月1日現在、20歳以下である者 ・経済的な支援を必要とする者 ※日本学生支援機構を含む他の奨学金との併用について ・貸与型奨学金:併用可 ・給付型奨学金:併用不可(ただし海外留学支援の奨学金は併用可) ・国の修学支援制度による授業料等減免:併用可 ・大学独自の制度のうち現金が給付されるのではなく、大学に納付する授業料が実際に減額または免除される制度:併用可 ※詳細は左記HPから「募集要項」を参照してください。</p>

* 奨学生に採用された学生は、各キャンパス奨学金担当者まで報告をしてください。

団体 (奨学金等)	応募資格等
<p>返還の必要なし 公益財団法人 キーエンス財団 (がんばれ！日本の大学生 応援給付金) www.keyence-foundation.or.jp</p>	<p>以下の項目すべてに該当する者 ・日本の大学に在籍する大学生(2025年度の新1年生を除く)である者(4年制の学部・学科生に限る。ただし留学生を除く。) ・2025年4月1日現在、23歳以下である者 ・最短修業年限にて卒業の見込みがある者 ・昨年までの「がんばれ！日本の大学生」応援給付金を受給していない者 ・当財団の奨学生ではない者 ・勉学に励み、目標をもって頑張っている大学生 ※他の奨学金等との併用についての制限はありません。 ※詳しくは左記HPより、「募集要項」を参照してください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 T.O環境財団 https://to-zaidan.org/</p>	<p>次の各号のすべてに該当する者。 (1)2025年4月1日時点で、学部の3年生又は4年生の者 (2)地球環境保全、廃棄物リサイクル等に関連する教育課程を選択している学生であること (3)学業が優れ、品行が正しく、かつ、健康である者 (4)日本国籍を有している者 (5)保護者(または未成年後見人等)の同意を得ている者 (6)本人及び生計を一にする家族が、暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者またはその構成員ではないこと *他の奨学金や授業料免除、各種経済支援制度の併願、併給に関する制限はありません *採用された奨学生は、半年毎に年2回、生活状況報告書(財団所定のもの)を財団に提出する必要があります *応募資格、提出書類等の詳細、申請書類は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること *推薦書の「学長名/学部長名・印」は省略可です。各自でアドバイザー教員に依頼し、署名・捺印をもらってください。 *保護者の所得証明書は、取得可能な直近の1月から12月までの所得がわかる書類を提出してください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 吉田育英会 http://www.ysf.or.jp</p>	<p>(ドクター21)次に掲げる要件をすべて満たす者 ・日本国籍を有する者 ・2025年4月1日現在において、30歳未満である者 ・2025年4月1日現在において、大学院修士課程の2年次に在学中の者 ・2025年秋季または2026年春季に大学院博士後期課程(標準修業年限が3年で、修了者に博士の学位が授与される課程)に入学を希望する者、または一貫制博士課程の3年次に進学もしくは編入学を希望する者 ・進学先大学院において、日本の大学院の学籍を有し、自然科学系分野を専攻する者 ・他奨学金との併給制限あり *応募資格、提出書類等の詳細は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 吉田育英会 http://www.ysf.or.jp</p>	<p>(マスター21)次に掲げる要件をすべて満たす者 ・日本国籍を有する者 ・2025年4月1日現在において、27歳未満である者 ・2025年4月1日現在において、4年次に在学中の者 ・2025年秋季または2026年春季に日本の大学院修士課程、または一貫制博士課程に入学を希望する者 ・進学先大学院において自然科学系分野を専攻する者 ・他奨学金との併給制限あり *応募資格、提出書類等の詳細は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること *応募者が複数いる場合は学内選考があります。(推薦できる人数は1名です。) *GPA付の成績証明書を提出してください。</p>
<p>宮崎県教育庁財務福利課育英資金室 (宮崎県育英資金在学採用) https://www.pref.miyazaki.lg.jp/ikueishikin/kyoiku kosodate/kyoiku/index-02.html</p>	<p>次のいずれの条件をも満たす者 ①育英資金の貸与を申し込む者の生計を主として維持する者が県内に居住していること ②大学(大学院生は除く)に在学しており、向学心に富み、優れた素質を有する学生であって、経済的理由により修学が困難であり、在学する学校の長が推薦すること *日本学生支援機構(第一種・第二種)の併用はできません。併願は可能です。 *その他注意点や家計基準・学力基準についての詳細、募集要項等は左記HPから確認・ダウンロードしてください。 *推薦調書も左記HP(宮崎県育英資金貸与事業について>9.各学校育英資金担当者様へ)内にあります。各キャンパスの奨学金窓口でもお渡しますので、お問合せください。 *新1年生は、高校の成績証明書を提出してください(評定値が記載されたもの)。 *新2年生以上はGPA付の成績証明書を提出してください。 *推薦調書は、学生からアドバイザー教員にお願いし、日付・学校名・校長名・評定平均値以外を記入してもらってください。 学校電話、学校担当者氏名はアドバイザー教員の氏名をお願いします。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 安田奨学財団 (日本人学生一般枠) https://gaxi.jp/organization/a5WJORvpqQ6vjPwr /project/IVXEB67mlIRkPLxA</p>	<p>次のすべてに該当する者 ・2025年度に学部新2年生に進級する人 ・日本国籍を有する人、又は外国籍であって、次の①～③のいずれかに該当する人 ①法定特別永住者 ②在留資格が「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」である人 ③在留資格が「定住者」であって、将来永住する意思がある人 *申請を希望する学生は左記の財団HPより応募フォームへアクセスしてください。 *(推薦書の)推薦者はアドバイザー教員とし、各自が教員に署名・捺印をお願いします。 学年は2024年度の学年(1年生)で記入してください。</p>
<p>返還の必要なし 公益信託 池田育英会トラスト (受託者 株式会社 伊予銀行) https://www.iyobank.co.jp/</p>	<p>次の要件を満たす者 ・愛媛県内の高等学校を卒業した者、または保護者(奨学生が成人の場合は保護者であった方)が愛媛県内に居住している者 ・学部2年生(新入生は対象外)～大学院生 ・学業・人物ともに優秀で、経済的支援の必要な方 *他の奨学金と併せて給付を受けることができる *奨学生に採用された方は年度終了後、報告書の提出が必要 *募集要領、提出書類等は左記のHPで確認、ダウンロードすること</p>

*奨学生に採用された学生は、各キャンパス奨学金担当者まで報告をしてください。

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p>返還の必要なし 公益財団法人伊藤忠兵衛基金 https://www.chubei-foundation.or.jp/gia2/</p>	<p>以下の(1)~(4)のすべてに該当すること (1)京都府・滋賀県・岐阜県・愛知県以西に所在する国立大学大学院に在籍する学生 (2)博士課程後期 各校1年次1名(既取得者を含めた各校計3名) (3)原則3年間まで継続可能 (4)4月入学対象 (5)日本国籍を有すること * 奨学金給付申込書の項目1、2は、学生から指導教員に記入・押印を依頼してください。その他の項目については、学生が記入してください。なお、申込書は1ページに収まらなくても構いません(印鑑以外はPC入力可) * 学業成績証明書は、2024年度のものを出してください * 住民票は、世帯全員の住民票を提出してください(戸籍謄本は提出不要) * 人物審査書(推薦状)は、大学で作成するため提出不要です * 応募者多数の場合は学内選考を実施するため、財団が求める書類以外に、本学の授業料免除申請と同様の書類(同一世帯全員分の所得・課税証明書など)が必要なので、必ず窓口申出期限までに各キャンパス奨学金担当窓口を確認してください(推薦人数は、各校1名まで) * 本基金に関する募集要項や申請様式については、左記のHPより確認すること。また、学内選考に必要な書類については、大学HP(https://www.kochi-u.ac.jp/campus/life/hukuri/jugyo_menjo/menjo007.html)の資料「【大学院生・令和元年度以前入学の学部生・被災学生】授業料免除資料+申請書類」を確認すること</p>
<p>公益財団法人 花王芸術・科学財団 (花王佑啓奨学金) https://www.kao-foundation.or.jp/</p>	<p>下記の2点の条件を満たす者を対象とする。 ①2025年4月現在、大学院(修士課程)1年次に在籍する学生で、芸術または科学の分野で学び、健康で学業成績・人物ともに優れており、高い自己の成長意欲と日本国籍を有する学生。(満30歳以下の正規学生) ②経済的支援を必要とする者 本人の収入(定職、アルバイト、父母等からの給付、奨学金、その他の収入により本人が1年間に得た金額)が350万円以下、配偶者がいる場合は本人と配偶者の合計額が500万円以下の場合。 * 他の奨学金制度との併用可能 * 募集要項、申請書類等は、左記HPで確認・ダウンロードをお願いします。 * 貸与型(無利子)の奨学金だが、条件により部分給付(20%) * 推薦書は、学生から指導教員にお願いし、署名・捺印等をもらってください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 花王芸術・科学財団 (花王女性研究者育成奨学金) https://www.kao-foundation.or.jp/</p>	<p>・2025年4月現在、大学院(博士課程)1年次に在籍する「表面の科学」の<化学・物理学分野>(※)の研究を行っている日本国籍を有する優秀な女子大学院生。 (満30歳以下の正規学生) ※表面の科学とは下記のように広義に理解されています。 固体表面、固液界面、触媒、超微粒子、コロイド、分子集合体、ナノマテリアルなどにおける新規な作成法、計測法、新規物性発現、機能創出、デバイス展開など界面と表面の科学に関する研究。 * 他の奨学金制度(日本学術振興会が行う研究者支援も含む)との併用可能 * 経済的理由は一切問いません。(所得制限無し) * 募集要項・申請書類等は、左記HPで確認・ダウンロードをお願いします。 * 推薦書は、学生から指導教員にお願いし、署名・捺印等をもらってください。 編入等により博士課程での指導教員の推薦が難しい場合は、申請者について詳しい方であれば、修士課程での指導教員の推薦も可。</p>
<p>出雲市教育委員会教育政策課 (出雲市奨学事業) https://www.city.izumo.shimane.jp/www/content/s/1297924648560/index.html</p>	<p>・2025年4月1日時点で、大学に入学予定又は在学中で、以下のすべてに該当する者 ①学業優秀である者 ②経済的理由により修学が困難である者 ③奨学金を受けようとする者又はその保護者が、3年以上(令和7年4月1日時点)出雲市内に住所を有している者 * 他の奨学金制度との併用が可能 * 募集要項、申請書類等は、左記HPで確認・ダウンロードをお願いします。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 サカタ財団 https://sakatazaidan.or.jp/</p>	<p>・2025年4月1日時点で、以下のいずれかに該当する日本国籍をもつ者 ①大学2年生に在籍する者 ②修士課程1年生又は博士課程前期1年生に在籍する者 * なお、当財団以外の団体から奨学金を受給していないこと(但し、日本学生支援機構、または所属する大学・大学院からの奨学金制度により、奨学金を受給されている者は除く)とする。 * 募集要項、申請書類等は、左記HPで確認・ダウンロードをお願いします。 * 推薦書は、学生から指導教員にお願いし、署名等をもらってください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 戸部眞紀財団 https://tobe-maki.or.jp/scholarship/</p>	<p>・日本の大学及び大学院で修学している者 ・学部学生(3年生以上)、修士課程、博士課程の者 ※専門職学位課程は研究論文またはそれに相当する課題等が修了要件になっていることが条件 ・年齢が2025年4月1日現在で30才以下の者 ・化学、食品科学、芸術学、デザイン学、体育学、スポーツ科学、経営学の分野で修学している者 ・向学心に富み、学業優秀であり、且つ、品行方正である者 ・学費の支弁が困難と認められる者 ・奨学金を得ることで、学業や研究により一層の深化、発展が期待される者 * 願書他の必要書類は、「Web」及び「郵送」の両方での提出が必要になります。 * 募集要項等は、左記HPで確認をお願いします。 * 申請希望者は、左記HP「奨学金申請」より、電子申請システムに入り、「申請の流れ」に従って基本情報を登録し「マイページ」を取得してください。 マイページにログインし、願書等の申請書類を作成・印刷してください。 * 成績証明書について... ・学部生: GPAが記載された成績証明書を発行してください。 ・院生(修士新1年生): 学部時代のGPAが記載された成績証明書を発行してください。 ・院生(修士新2年生以上): 学部時代のGPAが記載された成績証明書と、院の成績証明書(GPA記載なし)を発行し、院の成績については、財団フォーマット(GPA算出表)を使用して自らのGPA値を算出してください。 使用した財団フォーマットはweb申請及び郵送どちらでも提出する必要があります。 ※財団フォーマットはマイページからダウンロードできます。 ★GPAはweb申請時に「GPA欄」に小数点第2位まで入力する必要があります。 本学の成績証明書(学部)にはGPAは小数点第1位までしか記載されていないため、小数点第2位の値は「0」として入力してください。(例)3.3→3.30 院のGPAは、財団フォーマットを使用して算出したGPAをありのまま(小数点第2位まで)入力してください。 * 応募書類の推薦書は、学生からアドバイザー教員、指導教員にお願いし、署名・捺印をもらってください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 KAWAJIRI FOUNDATION (川尻育英奨学金) https://www.kawajiri-foundation.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の経済系学部等に在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 経済学部、経営学部、商学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>

* 奨学生に採用された学生は、各キャンパス奨学金担当者まで報告をしてください。

団体 (奨学金名等)	応募資格等
<p>返還の必要なし 一般財団法人 オークラ育英財団 https://okura-ikueizaidan.com/</p>	<p>次のすべてに該当する者 ・2025年4月1日現在、日本国内の4年制学部在学する大学生(2年生以上)で、原則として年齢が30歳以下であること ・日本国籍を有すること ・学業、人物ともに優秀であり、健康であること * 募集要項・必要書類等は左記HPより確認をしてください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 岡本教育財団 (岡本育英奨学金) https://www.okamotofoundation.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)経済系学部在籍する学部3年生であること (3)令和7年4月1日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること * 提出書類等の詳細は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること</p>
<p>返還の必要なし 在日本朝鮮人教育会 (朝鮮人奨学生) http://kyoikukai.net/syogakukin.html</p>	<p>・30歳未満の在日朝鮮人学部学生(国籍不問) ・本教育会の<奨学制度の目的>に賛同し、指定行事に積極的に参加する意思のある者※左記の奨学金HPを参照 ・成績が優良で、かつ学費の支弁が困難な者 * 本国からの留学生を除く * 大学院生の募集は行わない * 日本学生支援機構を除く他の給付制の奨学金との併給不可。但し応募は可能 * 提出書類等の詳細は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 中谷財団 https://www.nakatani-foundation.jp</p>	<p>・BME(Bio Medical Engineering)分野~生命科学と理工学の融合境界領域~において博士号の取得を目指す、日本の大学院(博士前期・後期課程、一貫制博士課程)に入学を予定している、または在籍中の日本国籍または日本の永住権を有する者 * 学部4年生(2025年秋、2026年春に大学院入学予定の者)も応募ができます * 本奨学金の給付対象期間が1年未満の者は応募できません * 民間の奨学金との併給はできません * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 似鳥国際奨学財団 (2025年度下期奨学生) https://www.nitori-shougakuzaidan.com/</p>	<p>次のすべての項目に該当する者(全ての資格は、2025年10月1日時点) ・日本国籍を有する者(外国籍を有し在留資格が、「永住者」または「定住者」の人も応募可能) ・【学部生】1~4年(医学部医学科の学生は1~6年)に正規生として在籍予定の者(1~4年は23歳以下、5~6年は25歳以下の者) ・【大学院生】25歳以下で、修士課程の1~2年に正規生として在籍予定の者 ・その他 * 給付型奨学金との重複受給は不可 * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 小林奨学財団 https://www.kobayashi-zaidan.or.jp/</p>	<p>一人親家庭等の経済的理由によって修学が困難な者のうち、品行方正かつ成績優秀な者、及び下記の条件を満たす者。 ・日本国籍を有し、2025年4月1日現在、大学および大学院に在学する者 * 募集要領、提出書類等は左記のHPで確認、ダウンロードすること (HPには3/24~3/28の内に2025年度の案内が掲載される予定です。)</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 いであ環境・文化財団 https://ieaf.or.jp/scholarship-2/r7-scholarship</p>	<p>以下の項目を全て満たしていること(留学生も対象) ①令和7年4月1日現在、学部2年生以上の者(大学院博士課程までを含む)で、大学の正規課程において、将来、環境保全の分野で社会貢献を目指すための科目を履修していること、又は芸術分野における作品の創作活動を行っていること ②所属大学からの推薦を受けることができること ③別途定める学力基準を満たしていること ④過去において、本財団の奨学金制度による奨学金を受給していないこと * 応募資格等の詳細は左記の奨学金HPで確認すること * 推薦理由は、学生から推薦者(原則として応募者を直接指導する教授・教員等)にお願いし、署名等をもってください。 * 応募者多数の場合は学内選考があります(1人の推薦者が推薦できる応募者は1名、各学部、各専攻からの応募者の上限は3名) * 【学部生】GPA付の成績証明書を提出してください。 * 【院生】学部時代のGPA付の成績証明書と、院の成績証明書(GPA記載なし)を提出してください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人オークネット財団 (オークネット奨学金) https://aucnet-foundation.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)経済系学部及び情報系学部在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 一般財団法人加藤学育英財団 (加藤学育英奨学金) https://katoikuei.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)化学科に在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 一般財団法人 深川真マリモ奨学財団 (マリモ奨学金) https://fukagawa-zaidan.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の経済系学部在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの * 応募書類、応募方法等については左記のHPより確認すること</p>

* 奨学生に採用された学生は、各キャンパス奨学金担当者まで報告をしてください。

団体 (奨学金等)	応募資格等
<p>返還の必要なし 公益財団法人 広智奨学会 https://kochishogaku.net</p>	<p>以下の(1)~(3)のすべてに該当すること (1)日本国内の大学の理工系(文部科学省の学科系統分類表に定める大分類が、理学、工学に限る。)学部在籍する大学2年生~4年生であること ※文部科学省の学科系統分類表 https://www.mext.go.jp/content/20200330-mxt_chousa01-001412325_4.pdf (2)日本国籍を有すること (3)学業・人物ともに優秀であり、健康であること * 募集要項、申請書類等は、左記のHPで確認、ダウンロードすること * 推薦書は、学生からアドバイザー教員にお願いし、推薦理由・署名・捺印等をもらってください。 (成績順位については、記入不要です。)</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 神保教育文化財団 (神保育英奨学金) https://jin-edu.or.jp/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の情報工学科に在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 情報システム工学科、情報通信工学科、電気電子情報工学科、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 LPC Foundation (LPC奨学金) https://lpc-foundation.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の経済系学部在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 経済学部、経営学部、商学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>石川県教育委員会 https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kyoiku/seisaku/s hinsei/ikuei_index.html</p>	<p>次のすべての要件を満たす者 ・学部生である者(大学院生を除く) ・保護者が石川県内に現に引き続き3年以上居住していること ・勉強意欲があり、かつ学費の支弁が困難な者であること ・日本学生支援機構奨学金の貸与を受けていない者 * 家計急変により奨学金希望する者を対象とした緊急採用制度もあります(申請随時) * 応募資格、提出書類等の詳細は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること * 応募書類の推薦書調書は、学生からアドバイザー教員にお願いし、記入してもらってください。 (推薦順位、日付、学校名、校長名以外全て) * GPAが記載された成績証明書を提出してください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 木原財団 (木原育英奨学金) https://kihara-foundation.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の理工系学部在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 杉山奨学財団 (杉山育英奨学金) https://www.sugiyama-zaidan.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の経済系学部在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 経済学部、経営学部、商学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>一般財団法人 あしなが育英会 (大学・大学院奨学生) http://www.ashinaga.org</p>	<p>・保護者が病気や災害(道路上の交通事故を除く)、自死などで死亡、または保護者が1級から5級の障がい認定を受けており、経済的な援助を必要としている家庭の子ども。※2000年4月2日以降に生まれた方が対象 * 奨学生に採用された方は、毎年度末に学業成績表・生活状況報告書の提出すること及び毎年春と秋に行われる「あしなが学生募金」への参加が必要です。 * 応募資格等の詳細、申請書等は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること</p>
<p>返還の必要なし 川村育英会奨学生</p>	<p>・学部2年次、又は大学院修士課程1年次に在学し、以下の項目すべてに該当する者 ・化学、応用化学、化学工学などの化学系、生命科学・工学系および、機械、電気電子工学系、情報科学系を専攻 ・父母及び生計を一にする家族の年間収入が500万円以下(祖父母の年金収入は除く) ・成績証明書記載の学業成績に占める、GPA3.0以上もしくは80点以上の成績評価の割合が50%以上 * 奨学生に採用された者は、原則として「奨学生証授与式、講演会及び奨学生交流会」への出席が必要 * 応募者多数の場合は学内選考があります(学部1名、大学院生1名) * 選考になる場合、財団が求める書類以外に提出書類が必要になる場合があります。(最新の所得課税証明書・令和6年分の源泉徴収票または確定申告書の第一表及び第二表等) * 申請書類は大学にありますので、申請希望者は各キャンパスの奨学金窓口に来てください * 成績証明書はGPAが記載されたものを提出してください(院生は学部時代4年間のGPAが記載されたもの)</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 青木仁志啓育財団 (青木仁志奨学金) https://aoki-keiiku.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の経済系学部在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 経済学部、経営学部、商学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>

* 奨学生に採用された学生は、各キャンパス奨学金担当者まで報告をしてください。

団体 (奨学金等)	応募資格等
<p>返還の必要なし 一般財団法人 浜教育財団 (浜奨学金) https://www.hama-foundation.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の教育学部に在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 谷育英財団 (谷育英奨学金) https://tani-edu-foundation.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の理工系学部在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 一般財団法人 古宮誠一記念教育財団 (古宮誠一記念奨学金) https://komiya-zaidan.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の理工系学部在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 理工学部、理学部、工学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 山村章奨学財団 (山村章育英奨学金) http://yamamura-scholarship.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の工学系学部在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 工学部並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>公益財団法人 交通遺児育英会 (大学・大学院奨学生) https://www.kotsuiji.com</p>	<p>・申込時25歳までの学生 ・保護者等が自動車やバイクの事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働けず、経済的に修学が困難な学生。応募者が生まれる前に保護者が後遺障害となった場合も含む * 応募書類・応募方法等については本法人HPより確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 日本国際教育支援協会 (2025年度JEEES日本語教育普及奨学金) http://www.jees.or.jp/foundation/jtct-scholarship.htm</p>	<p>次の各号のすべてに該当する者。 (1) 令和7年4月に、正規生として日本の大学(大学院及び短期大学を含む。以下「大学」という。)に在籍し、日本語指導者等を目指す者。 (2) 日本国籍を有する者、日本への永住を許可されている者又は、私費外国人留学生。なお、私費外国人留学生の場合、在留資格は「留学」であること。 (3) 本協会が令和6年度に実施した日本語教育能力検定試験に合格した者。 (4) 採用された場合の受給期間が令和7年4月から1学年相当以上ある者。 (5) 本奨学金の受給期間中、本協会が実施する他の奨学金を受給せず、他の団体から受ける給付奨学金の受給額合計が年額600,000円(月額50,000円相当)以下である者。ただし、貸与型奨学金、学費免除及び国の高等教育修学新制度は除く。 (6) 令和7年4月に在籍大学の長の推薦を受けることのできる者。 * 協会が求める書類については、協会指定の形式データで各奨学金窓口まで持参してください。 * 推薦書(様式2)については、「①氏名」欄に入力をしてきてください。特記事項(推薦理由等)欄は、学生からアドバイザー・教員・指導教員にお願いし、入力してもらってください。 * 応募者多数になる場合は、選考があるため、協会が求める書類以外に、大学が指示する書類を提出してもらう必要があります。たとえば、GPAが表示された成績証明書、生計維持者の最新の収入に関する証明書等。私費留学生については、親からの仕送りと自身のアルバイト状況がわかるもの等。(推薦人数は、2名までです。) * なお、申請希望者は、2025.4.25(金)までに、各窓口に出し、大学が指示する書類を聞くようにしてください。 * 応募資格、提出書類等の詳細は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 パロック村井博之財団 https://baroque-murai.or.jp/scholar/</p>	<p>・日本国内に居住する者で、日本国内の大学に在籍する日本人学生及び外国人留学生(大学院生は対象外) ・他の給付型奨学金を受給していない学部生 ・本財団が企画する行事(贈呈式等)への参加に協力できる者 * 留学生の方は国際教育支援室にお問い合わせください * 世帯所得は書類選考の判定に使用しますが、世帯所得による応募制限はありません * 推薦書は、学生からアドバイザー・教員に依頼してください なお、教員による推薦に関しての特記事項の記入は不要ですので(財団了承済)、別途特記事項がある場合のみ記入してください</p>
<p>社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会 (滋賀県保育士修学資金貸付事業) https://fukushi.shiga.jp/ouen/</p>	<p>次のすべての要件を満たす者 ・保育士資格取得を目指す学生 ・卒業後、滋賀県内の保育士修学資金免除対象施設一覧(募集要項別表1)の施設において、保育業務に従事しようとする者 ・優秀な学生であって、かつ、家庭の経済状況等から真に修学資金の貸付が必要と認められる者 ・他の実施主体から同様の修学資金の貸付を受けていない者 * 母子・父子寡婦福祉資金、生活福祉資金教育支援資金等、重複して貸付を行えないものがあります。 * 卒業後、滋賀県内の保育士修学資金免除対象施設一覧(別表1)の施設において、保育業務に5年間引き続き従事した場合、貸付金の返還が免除となります。 * 応募資格、提出書類等の詳細は左記の奨学金HPで確認、ダウンロードすること * 推薦書は、学生からアドバイザー・教員にお願いし、「課程名・学年・氏名」「高等教育修学支援新制度の適用状況」「推薦理由」欄を記入してもらってください。</p>

* 奨学生に採用された学生は、各キャンパス奨学金担当者まで報告をしてください。

団体 (奨学金名等)	応募資格等
<p>返還の必要なし 公益財団法人 原・フルタイムシステム科学技術振興財団 (原・フルタイムシステム工学育英奨学金) https://hara-kagaku.org/</p>	<p>以下の(1)~(6)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学・大学院の工学系学部又は工学系研究科に学ぶ者であること (3)新たに学部3年生又は修士1年生又は博士1年生となる者であること (4)募集年度4月1日時点で年齢30才以下であること (5)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (6)就学状況及び生活状況について適時報告(2か月に一度)できること * 応募書類・応募方法等については左記の法人HPより確認すること</p>
<p>返還の必要なし 一般財団法人 平石教育財団 https://hiraishi-foundation.org/</p>	<p>以下の要件にいずれも該当する者 ①2025年4月1日に在籍する大学1年生(外国人留学生を除く) ②経済的な支援を必要とする者 ③世帯所得が300万円以下である者(年収目安約430万円) * 他の奨学金制度との併用可能 * 応募書類、応募方法等については左記のHPより確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 日本国際教育支援協会 (令和7年度JEES・住友金属鉱山地域貢献奨学金)</p>	<p>次の各号のすべてに該当する者。 (1) 令和7年4月に、正規生として、学士課程1年次又は2年次に在籍する者。 (2) 日本国籍を有する者又は日本への永住を許可されている者。 (3) 東京都多摩地区(東京都のうち都区部と島嶼部(伊豆諸島・小笠原諸島)を除いた市町村)、兵庫県播磨地域(兵庫県のうち神戸・阪神地域、但馬地域、丹波地域、淡路地域を除いた市町)、愛媛県、鹿児島県の持続的発展に貢献する意欲がある者。 (4) 経済的援助を必要とする者。 (5) 心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。 (6) 令和7年4月に在籍する大学の長の推薦を受けることのできる者。 * 募集要項等は、個別にデータを送付しますので、窓口申出期限までに各キャンパスの奨学金窓口へ申出をしてください。 * 協会が求める書類については、協会指定の形式データで各奨学金窓口までメールにて提出してください。 (推薦書は、アドバイザー教員に各自で依頼してください。学校担当者連絡先は入力不要です。) * 応募者多数の場合は、学内選考を行います(各大学3名まで)。 * 選考になる場合、生計維持者(原則父・母)の最新の所得課税証明書と2024年分の源泉徴収票または確定申告書の第一表及び第二表等を提出してください。また、学部1年生は評定値がわかる調査書又は成績証明書を、学部1年生以外はGPA付の成績証明書(2024年度までの成績が反映されたもの)をそれぞれ提出してください。なお、このほかに別途書類の提出を求める場合があります。</p>
<p>一般財団法人 関育英奨学会 https://www.seki-ikueikai.or.jp</p>	<p>・2~4年生の学部生、医学科のみ2~6年生も可。 ・人物・学業とも優秀かつ健康でありながら、学資の支弁が困難と認められる者で、在学する学校の推薦した者 * 貸与型奨学金のため留学生は対象としておりません * 左記の財団HPに記載されている奨学金貸与規定を必ず確認してください * GPA付の成績証明書を提出してください。 * 推薦調書は学生からアドバイザー教員にお願いし、「大学・学部・学科・氏名・学年」「推薦所見」欄を記入してもらってください。 * 応募者が複数いる場合は学内選考があります。(推薦できる人数は1~2名です。) * 選考になる場合、生計維持者(原則父・母)の最新の所得課税証明書と2024年分の源泉徴収票または確定申告書の第一表及び第二表等を提出してください。なお、このほかに別途書類の提出を求める場合があります。</p>
<p>公益財団法人 宮崎県奨学会 返還免除型、貸与型 (宮崎県奨学会奨学生)</p>	<p>次のいずれの条件をも満たす者 ①宮崎県に本籍を有する者、又は本人の主たる生計維持者が宮崎県内に居住している者 ②令和7年4月に大学に入学した者 ③宮崎県の教員を志望する者 * 免除型奨学金以外の貸与については、在学生の応募も受け付けるが、財団に個別に問い合わせが必要 * 日本学生支援機構・宮崎県育英資金等他の奨学金との併願はできません。ただし、給付型の奨学金との併用は可能 * 募集要項・申請様式等は大学にありますので、申請希望者は各キャンパスの奨学金窓口にお問い合わせください。 * 推薦書は、学生からアドバイザー教員にお願いし、所見をもらってください。推薦書の証明欄(日付・学校所在地・学校長氏名)は空けておいてください。</p>
<p>返還の必要なし TOKAIグループ富士山育英財団 https://tokaigroup.fujisanikuei-foundation.or.jp/</p>	<p>以下(1)~(4)いずれも該当する者 (1)2025年度に在学中であること (2)日本国内の大学に就学している大学生、又は、大学院生 (3)経済的支援を必要とし、心身共に健康で、成績優秀な学生 (4)学校推薦をうけること なお、奨学生に認定された際は財団主催のイベントに可能な範囲で参加する必要があります。 * 応募は、「仮エントリー」と「本エントリー」の2段階に分かれています。 募集期間内に両方をすべて完了している必要があります。 * 仮エントリーを行う前に、各キャンパスの奨学金窓口に応募する旨を申し出てください。 * 募集要項・応募者向けマニュアル等は、左記HPで確認をお願いします。 * 成績証明(書)について・・・ ・学部新1年生:出身高校の成績証明書+財団の定めるGPA計算書を提出してください。 ・学部2~4年生・修士新1年生:GPAが記載された学部時代の成績証明書を提出してください。(財団の定めるGPA計算書は不要) ・修士2年生以上:院時代の成績証明書(GPA記載なし)+財団の定めるGPA計算書を提出してください。 * 応募書類の推薦書は、学生が氏名、学部、学科、学年、学籍番号を記入の上、学生からアドバイザー教員・指導教員にお願いし、推薦理由欄への記入・捺印をもらってください。(記入日・大学名・学長氏名欄は空けておいてください。)</p>
<p>返還の必要なし 社会福祉法人中央共同募金会 (盛和塾 就職活動応援助成) https://www.akaihane.or.jp/seiwajyuku-2/</p>	<p>(盛和塾 就職活動応援助成) 原則、以下の要件のすべてにあてはまる者を対象とします ・高等学校卒業時に児童養護施設または自立援助ホームに在籍していた者で、就職活動する時点で施設を退所して自らの生計を立てている者 ・2025(令和7)年度に就職活動を実施する予定の者 * 過去にこの助成を受けた方は対象になりません * 応募書類、応募方法等については左記のHPより確認すること</p>

* 奨学生に採用された学生は、各キャンパス奨学金担当者まで報告をしてください。

団体 (奨学金等)	応募資格等
<p>返還の必要なし 社会福祉法人中央共同募金会 (盛和塾 手に職つけよう応援助成) https://www.akaihane.or.jp/seiwajyuku-2/</p>	<p>(盛和塾 手に職つけよう応援助成) 原則、以下の要件のすべてにあてはまる者を対象とします ・高等学校卒業時に児童養護施設または自立援助ホームに在籍していた者で、現在は施設を退所して自らの生計を立てている者 ・国家資格等の取得を目的にその養成課程を有する大学に進学し、現に在学している者 * 過去にこの助成を受けた方は対象になりません * 応募書類、応募方法等については左記のHPより確認すること</p>
<p>返還の必要なし はばたけ未来の私 (はばたけ未来の私 入学時給付奨学生) (学部生対象) https://www.habatakemirai.org/</p>	<p>社会的養育を経験した大学生であり、以下のすべてに該当すること ・岡山県内に所在する児童養護施設・里親家庭等で生活した経験があること ・大学に在籍している1年生であること ・明確な目的意識を持って学んでいること ・申請者のことをよく知る1名を推薦者とし、名前と連絡先が記入できること(推薦者の方に連絡させていただく場合があります。どなたが適切かご自身でお考えください) ・他の奨学金との併願も可能です * 本奨学金応募に関する書類作成・提出は奨学金を希望する本人が行うこと * 募集要項や応募書類等は、各キャンパスの奨学金窓口へ申出をするか、左記のHPに記載してある連絡先へ問い合わせをして請求すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 加瀬不動産活用振興財団 (加瀬奨学金) https://www.kasezaidan.org/</p>	<p>以下の(1)~(5)のすべてに該当すること (1)日本国籍を有すること (2)国内の大学の経済系学部等に在籍する学部3年生であること (3)応募締切日時時点で年齢25才以下であること (4)経済的な理由により学費の支弁が困難であること (5)就学状況及び生活状況について適時報告できること * 経済学部、経営学部及び商学部、並びにこれらに類するもの * 学業成績、家計状況について目安がありますので、左記のHPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 ほくと育英会 http://www.hokuto-shinkin.co.jp/ikueikai/info.shtml</p>	<p>次のすべてに該当する者 ・学部1年生に在籍中の学生 ・研究意欲の旺盛にして学業優秀、原則として学費の支弁が困難な学生 ・京都府宮津市、京都市(但し旧京北町に限る)、福知山市、舞鶴市、綾部市、亀岡市、京丹後市、南丹市、船井郡および与謝郡に所在する高等学校の卒業生(該当の高等学校は左記の財団HPで確認すること) * 応募希望者の兄弟・姉妹が、現在ほくと育英会の奨学金を受給している場合は、選考されない場合があります * 募集要項・申請様式等は大学にありますので、申請希望者は各キャンパスの奨学金窓口にご確認ください。 * 応募者多数の場合は学内選考があります(各大学2名まで)。学内選考がある場合は、財団への提出書類以外にも根拠資料の提出を求められることがあります。 * 推薦書は、学生からアドバイザー教員にお願いし、捺印・所見をもらってください。 * 高等学校に作成の依頼が必要な書類(奨学生希望者ご意見書)がありますので、申請希望者は右記申出期限に関わらずお早めに奨学金窓口にご確認ください。 * 奨学金概要は左記のHPより確認すること。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 観哲奨学会 https://eitetsu.sakura.ne.jp/</p>	<p>以下の(1)~(3)のすべてに該当すること (1)大阪府下に住所を有する者が扶養する学部生 (2)健康かつ学業の成績が優秀かつ素行が良好な者 (3)経済的理由により学費の支弁が困難な者 * 募集学年については学年の制限はなし * 「高等教育の就学支援新制度」の給付型奨学金及び授業料等減免とは併給不可 * 申請様式等は大学にありますので、申請希望者は各キャンパスの奨学金窓口にご確認ください。 * 推薦書は、学生からアドバイザー教員にお願いし、捺印・所見をもらってください。 * 募集要項は左記のHPより確認すること。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 天野工業技術研究所 (2025年度大学院後期博士課程奨学金) https://zai-amano.or.jp/scholarship-g_special</p>	<p>(奨学生の資格) 下記の項目すべてに該当する者 (1)日本国内の理工学系大学院において、申請時に後期博士課程1年次に在籍する者。ただし、外国籍の場合は、「外国籍在留資格」及び「日本語能力試験(JLPT)のN1」の資格を有する者 (2)年齢が、2025年度末で満26歳以下の者 (3)人物・学術ともに優れ、健康であり、学資の支援が必要と認められる者 (4)工業技術の発展に向け、機械・精密機械、電気・電子材料、化学、環境・エネルギー分野の研究に意欲的に取り組む者 (5)応募にあたり学長、学部長又は研究科長に加え指導教員の推薦を受けることができる者 (6)他の機関等団体から金銭的支援や報酬を受けていないこと。(社会人学生は応募できません)ただし、受給額が年額65万円以下の場合で、その支援機関が当奨学金との併給を認めた場合は除く。なお、選考では単独受給が優先される。 * 推薦書は、学生から指導教員にお願いし、捺印・所見をもらってください。 * 募集要項、応募書類等は、左記HPにて確認・ダウンロードをお願いします。</p>
<p>返還の必要なし 一般社団法人 唐神基金</p>	<p>次のすべての要件を満たす者 (1)2025年4月時点で、学部生(1年~4年)の者(「留年」「修士」「博士」は応募対象外) (2)学業、人物共に優秀かつ心身共に健康である者 (3)2024年の同一生計の世帯総年収が600万円以下である者 (4)観光業、若しくは旅館・ホテル宿泊業に興味があり、自分なりの提案を持っている者 * 過去に応募した学生も再応募可能 * 他の財団からの奨学金受給者も応募可能(併給可能) * 日本在住の海外留学生も応募可能(但し、留学生の方は国際教育支援室に申請をしてください。) * 専攻不問 * 募集要項は大学にありますので、申請希望者は各キャンパスの奨学金窓口にお問い合わせください * 応募書類の学校推薦状の作成は、学生からアドバイザー教員にお願いしてください。(日付や大学名、役職・氏名・印鑑等すべて完成した状態で各奨学金窓口へ提出をお願いします。)</p>

* 奨学生に採用された学生は、各キャンパス奨学金担当者まで報告をしてください。

団体 (奨学名等)	応募資格等
<p>返還の必要なし はばたけ未来の私 (岡山ソーシャルワーカー協会冠奨学生) (学部生対象) https://www.habatakemirai.org/</p>	<p>社会的養育を経験した大学生であり、以下のすべてに該当すること</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡山県内に所在する児童養護施設・里親家庭等で生活した経験があること 大学に在籍している2年生以上であること 成績は問わないが、明確な目的意識を持って学んでいること 申請者のことをよく知る1名を推薦者とし、名前と連絡先が記入できること(推薦者の方に連絡させていただく場合があります。どなたが適切かご自身でお考えください) 他の奨学金との併願も可能です <p>* 本奨学金応募に関する書類作成・提出は奨学金を希望する本人が行うこと * 募集要項や応募書類等は、各キャンパスの奨学金窓口へ申出をするか、左記のHPに記載してある連絡先へ問い合わせをして請求すること</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人林レオロジー記念財団 http://www.hayashi-rheology.or.jp</p>	<p>未来に役立つ理論・メカニズムの設計工学・ロボット工学・AI技術・IT技術・制御工学等の自動製造システムに関する学問を習得又は学術研究を志す工学部・理学部系の大学院生および大学生、若しくは「食品産業に関する」農水産学部・生命科学部系等の大学院生および大学生を対象とし、かつ次の①～③の条件を全て満たす人</p> <p>①令和8年4月に大学3年若しくは大学4年に進級する人、または、大学院前期(修士課程)1年生に進学を希望する人若しくは大学院前期(修士課程)2年生に進級する人(9月進学者は除く) ②品行方正で学習意欲の高い人 ③学業成績が一定水準以上の人(※学部の成績証明書については、GPAが記載されたものを提出してください)</p> <p>* 前年度応募者および前年度奨学生であっても、応募資格を有する * 他の奨学金制度に応募し、又は他の奨学金制度を現に利用している場合は、その財団が供給可の場合のみ、応募資格を有する * 募集要項や応募書類等は、左記のHPで確認すること * 応募者多数の場合は、学内選考を行うことがあります(各専攻1名程度、各学部1名程度)。 * 奨学生推薦書1枚目の「被推薦者氏名」「出身地」「学科/学年(研究科/専攻)」は申請学生が記入し、「日付」「大学名」「学長名」は空けておいてください。2枚目の「推薦理由書」「指導教授・教員氏名」は申請学生からアドバイザー教員にお願いして記入・押印してもらってください。</p>
<p>返還の必要なし 一般財団法人阪大微生物病研究会 (BIKEN谷口奨学金) https://www.biken.or.jp/</p>	<p>以下の応募資格を全て満たすこと</p> <p>① 2026年4月時点で、日本国内の大学院に所属し、次のいずれかの在学年次に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> 4年制博士課程 第1年次～第3年次 後期3年課程のみの博士課程 第1年次～第2年次 <p>② 微生物病等(細菌、ウイルス、感染症、ワクチン等)に関する分野の研究を行う者 ③ 本奨学金の給付期間中は、原則として企業・団体等との雇用関係を有さない(予定)者 ※企業等からの出向者等は本奨学金の対象外となります。 ④ 日本国籍を有する者 ⑤ 学業成績・人物ともに優秀であり、心身ともに健康で、受入先指導教員の推薦を受けられる者 ※推薦書は指導教員自らがWeb提出する必要がありますのでご注意ください。</p> <p>* 募集要項や応募書類等は、左記のHPで確認すること</p>
<p>出雲市教育委員会教育政策課 (出雲市奨学事業) https://www.city.izumo.shimane.jp/www/content/s/1297924648560/index.html</p>	<p>2026年4月1日時点で、大学・大学院に進学予定・在学中で、以下のすべてに該当する者</p> <p>①学業優秀である者 ②経済的理由により修学が困難である者 ③奨学金を受けようとする者又はその保護者が、申込日の時点で3年以上出雲市内に住所を有している者</p> <p>* 他の奨学金制度との併用が可能 * 募集要項や応募書類等は、左記のHPで確認すること</p>
<p>出雲市教育委員会教育政策課 (出雲市高野令一育英奨学事業) https://www.city.izumo.shimane.jp/www/content/s/1297924648560/index.html</p>	<p>2026年4月1日時点で、大学・大学院に進学予定・在学中で、以下のすべてに該当する者</p> <p>①学業優秀である者 ②経済的理由により修学が困難である者 ③奨学金を受けようとする者又はその保護者が、申込日の時点で3年以上出雲市内に住所を有している者</p> <p>* 他の奨学金制度との併用が可能 * 募集要項や応募書類等は、左記のHPで確認すること</p>
<p>返還の必要なし 一般財団法人 霞山会 http://www.kazankai.org/</p>	<p>次のすべての項目に該当する者</p> <p>1) 日本国籍を有している者 2) 日本の大学院(修士・博士課程)に在籍(2026年4月入学予定も含む)し、次項の各分野を専攻する者 3) 近現代中国または台湾に関する政治、経済、歴史、教育・文化の各分野を専攻する者 4) 応募時に下記年齢の者</p> <p>①修士課程在籍(2026年4月入学予定も含む)者…30歳未満 ②博士課程在籍(2026年4月入学予定も含む)者…40歳未満</p> <p>5) 給与所得者ではない者(他の奨学金等の併給も不可) 6) 将来、大学あるいは研究機関において研究職を希望する者 7) 成績優秀で心身ともに健康な者</p> <p>* 募集要項、申請書類等は、左記HPで確認すること * 大学に推薦書の様式を用意していますので、申請を希望する方は申請期限に間に合うように学生支援課奨学金窓口にお問い合わせください。</p>
<p>返還の必要なし 公益財団法人 蔵人記念財団 https://www.kurodo-foundation.or.jp/</p>	<p>次のすべての項目に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> 応募時点において、日本国籍を有している者 現大学1年生(給付は大学2年次より行います) 経済的に恵まれず、修学が困難な者(世帯年収が、目安として400万円以下(税込み)であること) 親権者(又は未成年後見人)等による保証人の同意を得ている者 本人及び生計を一にする家族が、暴力団、暴力団関係企業、総会屋もしくはこれらに準ずる者又はその構成員ではない者 日本国内にある大学で、農学部、畜産学部、水産学部及びそれらに準ずる学部・学科(獣医学は除く)に在籍している者 <p>* 応募資格等の詳細は左記HPで確認すること * 応募書類の推薦書は、学生からアドバイザー教員にお願いし、署名・捺印をもらってください。(大学の公印は省略します。大学名は奨学金窓口でゴム印を押しますので、募集期限に間に合うように推薦書を持参してください。)</p>

* 奨学生に採用された学生は、各キャンパス奨学金担当者まで報告をしてください。

団体 (奨学金等)	応募資格等
<p>返還の必要なし 公益財団法人 岩谷直治記念財団 (2026年度岩谷日本人大学院生奨学助成) https://www.iwatani-foundation.or.jp/</p>	<p>学業成績が優秀であって、学生生活上、経済的援助を必要とし、次のすべての条件に該当する者とします。</p> <p>(1)日本国籍を有する者 (2)2026年4月1日時点で日本に在住し、大学院の修士課程または博士課程に在籍している者または入学決定者 (3)自然科学系および関連する学際分野を専攻している者 (応募資格に該当する自然科学系および関連する学際分野) 工学、理学および農学の全般、ただし、医学、薬学は除く (4)2026年4月1日時点の年齢が修士課程は満30歳未満、博士課程は満35歳未満の者 (5)2026年4月以降、他機関からの奨学金や研究支援金等を受けない者 (6)学位取得にあたり、経済的援助を必要とする者 (7)奨学金支給1年目に5回開催する奨学生例会に年間を通じて出席し、奨学生としての義務を果たせる者 (8)奨学期間中に他国への短期留学、交換留学等により日本を離れる予定のない者 (9)奨学金至急終了後も当財団との関係を継続する意思のある者 (10)国際交流と親善を積極的に行う者</p> <p>* 募集要項、申請書類等は、左記HPで確認すること * 推薦状は、学生から指導教員にお願いし、指導教員の署名等をもってください。</p>
<p>返還の必要なし 一般財団法人全国大学生協連奨学財団 (大学生協学業継続奨学金) https://www.univcoop.or.jp/syogakuzaidan/index.html</p>	<p>以下のすべてに該当し、扶養者が死亡したため、学業継続が経済的に著しく困難な方が対象</p> <p>(1)学部生もしくは院生※留学生は大学生協組合員に限る (2)扶養者死亡後原則として1年以内の応募であること</p> <p>* 扶養者死亡時点で学籍がない場合は、応募できないものとする * 応募資格等の詳細については、左記のHPで確認すること</p>